

令和5年度第3回すみだタウンミーティング 実施報告書

テーマ

すみだ『こども』タウンミーティング

実施日時・会場

- ・令和6年1月28日(日) 午前9時00分～正午(午前12時00分)
- ・すみだリバーサイドホール・イベントホール(墨田区役所2階)

対象者

- ・墨田区在住・在学の小学校5年生・6年生

参加人数

- ・35名 + 参加児童保護者等51名

実施形態

参加児童はA～H、8つのグループに分かれ、グループワーク形式で実施

タウンミーティング当日実施概要

(1) アイスブレイキング(人間コピー機・すみだクイズ)

人間コピー機：グループ対抗で離れた場所に置かれた一枚のイラストを各自順番に見て、白紙に書き写し、その正確さを比べるというゲームを行い、チームワークを深めた。

すみだクイズ：グループ対抗で区の地図を見ながら問題に解答して、区について学んだ。

【出題問題】

- 墨田区内にある小学校の数は？(参考：25校(令和5年4月1日現在))
- 墨田区内にある公園の数は？(参考：144園(区立・都立公園及び児童遊園合計(令和5年4月1日現在))
- 墨田区内にある児童館の数は？(参考：15館(児童館(分館)・児童室合計・令和5年4月1日現在))

(2) 区長と参加者のアイスブレイキング(区長への質問・区長からの質問)

グループごとに区長への質問

(質問内容 回答を含む詳細については、議事録(要約)参照)

- ・区長は必要なのか？ / 区長は墨田区にどんな縁があるのか？ / 墨田区は大きな災害があったとき、どのような手段を取るのか？ / 墨田区の中で一番好きな場所はどこか？
- ・一番好きなファミレスはどこか？ / 墨田区はどれだけお金を使っているのか？
- ・墨田区でこれまでに一番お金をかけた建物は何か？ / 墨田区の政策の工夫は何か？

区長から参加児童への質問

(質問内容 回答を含む詳細については、議事録(要約)参照)

- ・皆さんに配布している「タブレット」を使った感想や「タブレット」を活用してやりたいことは？
- ・墨田区の良いところや墨田区についてどのように感じているか？
- ・自分が何になりたいか、将来の夢は？



(3) 区長への提案「自分たちが今も未来も楽しく過ごせるようになるために」

各グループ(A～H班)からの「8つの提案」(提案に対する区長の回答等については、議事録(要約)及び別紙1参照)

A班:「水害対策」について

墨田区にあまりお金がないのは、人口が少なく税収が安定しないためであると思うので、危険なところを減らしていけば、人口が増えると思う。また、川に挟まれていることから、水害が一番のリスクであると考え、提案する。

例えば、墨田五丁目は川に挟まれていて危険度が高いが、墨田五丁目から区役所は遠いので、近くの避難場所として、東向島四丁目付近に公園兼避難所のようなものを作ると良いと思う。

B班:「墨田区の小中学校の児童・生徒が交流する機会づくり」について

例えば、音楽会や運動会を小中学生と一緒に実施することで、子ども同士が楽しみながら交流を深めることができる。また、運動会であればリレーの作戦会議等を通じて、いろいろな意見が出ることで、団結力が深まり、楽しむことができる。学芸会であれば、他の学校がどんな演技をするのか考えたり、演技を見たりすれば、子どもの笑顔が増える。さらに、小学校を卒業した後の進路を決めやすくなると思う。中学校の生徒と会って話すことができれば、中学校の様子がわかる。これらの理由から、小中学校の児童・生徒の交流について提案する。

C班:「遊ぶ場所」について

私たちが困っていることは、「遊ぶ場所」である。小学生は行動範囲が狭く、公園ではボールが使えない場合があったり、花火ができる場所が少なかったり、高学年向けの遊具が少なかったりするので、公園に行っても何をして良いかわからない。

次に、その改善点である。ボール遊びについては、フェンスのある公園やボール遊び専用の公園を作ると良いと思う。花火については、18歳以上の方が同伴をしていたら良いなどのルールを作ることで、安心安全対策をしっかりすると良いと思う。

次に、行動範囲についてである。今は学区によって行動範囲が決まっているが、近い学区同士で合併すれば良いと思う。

最後に、歩道について困っていることがある。高齢者や小さい子どもを連れた保護者が、信号や歩道の段差で困っている姿を見かけるのが気になる。また、狭い道が多く、そこに駐車している車が邪魔で歩けなくなっている人を多く見る。改善点として、バリアフリー化して段差を緩くする、スロープを付ける、アスファルトを滑らかにして熱を吸収しない素材にしてほしい、という意見が出た。

D班:「多種多様な使い方が可能な広い公園の整備」について

理由は、電子機器が増えたことで運動する機会が減少していること、子どもは広い公園があ

ったら外で遊びたくなることの二点である。放課後に外で集まっても運動以外の遊びをすることが多いが、公園の設備が充実していれば、様々な運動や遊びができるので、子どもの運動不足を改善できる。

保健の先生から、現代の小学生は運動する時間が短いという話を聞いた。多種多様な使い方ができる広い公園があれば、運動する時間が長くなると思う。広い公園を作ることで、運動する時間を増やすことができ、子どもたちも楽しく遊ぶことができると思う。多種多様な広い公園を作ることで、アスレチック等で楽しく運動できて、体力もつくといったメリットがあると思う。外で体を動かす遊びをする子どもたちが少ないため、広い公園がほしい。

E班：「マンガ図書館の整備」について

理由として、「マンガ図書館」は、唯一無二で他の区にはないため、注目を浴びて、観光客が増える可能性があると思う。学校の図書室には、歴史のマンガしか置いておらず、マンガが借りられない学校もある。暇な時にも行ける場所として、「マンガ図書館」があるといいと思う。シリーズがたくさんある漫画は全部そろえるのが大変であるが、「マンガ図書館」があれば、全部読むことができる。場所は、人口が多い錦糸町付近に寄せるというのが良いと考える。ただし、押上付近は観光客が多いため、もう少し南の人が少ない場所が良い。また、館内には会話して良い場所と会話禁止の場所を作ると良いと思う。

⑥ F班：「スポーツ振興」について

現在、小中学生には、コロナ禍で行動制限されていた感覚が残っていることやインターネットの流行によって、運動する機会が少ないことが問題として挙げられる。そこで、小中学生限定のジムや球技が楽しめる運動場を作り、意識的に体を動かす機会を作ることが大事であると考えた。

例えば、ラジオ体操のようにカード(出席カード)を導入することや気軽に行けるようにイベント等を実施することが重要である。球技専用の場所を増やすのも良いと思う。ジムの整備する場合は、施設内にトランポリン、エアロバイク等、子どもにとって安全な設備を入れると良いと思う。

⑦ G班：「いじめをなくすこと」について

具体策として、全員に話を聞く、カウンセリングアプリや目安箱等を作る。不登校の人たちの居場所を増やす。児童、生徒が自分たちで時間割を決めて、学校に行きやすくする。読み書きなどができなくても通うことが可能な施設を作る。学校内の大人の目を増やすことを提案する。

⑧ H班：「タブレットの適正使用」(授業中に関係ないことをするな！)について

私たちの班では、タブレット賛成と反対両方の意見があった。反対派の意見として、授業中にタブレットで関係のないことをして、授業が中断してしまうことがあるというものがあった。対策として、授業中に児童が使うタブレットを先生が見ることができるようになり、閲覧禁止のサイトに入ると先生に通知され、わかるようにすると良いと思う。

また、タブレットが重いという課題がある。現在、タブレットは手持ち部分がある重いカバーなので、上履きのように、手提げ袋があると嬉しい。一年生のうちから、キーボード付きのケースにして、ローマ字に慣れることも大切だと考える。

添付資料

別紙 1 各グループの提案に対する区長及び主管課からの回答

別紙 2 アンケート結果

